



21.10.24 聖日-RT

### Remnantの覚悟 Iサム 18:6-9

序 - 羊飼生活 (詩 78:70-72)	本 - 時刻表	結
1. みことば黙想	1. 事件	3. 真の答え(未来) 1. 問題 - 100年
2. 深い祈り	1) ペリシテ	1) 青少年 - 刻印 2. 事件 - 1000年
3. 賛美	2) ガド	2) 世の中 - 根
4. 最高の羊飼	- ゴリヤテ	3) 時間 - 体質 3. RT - 永遠
5. <u>王</u>	3) 幼いダビデ	

#### I サム 18:6-9

6 ダビデがあのかのペリシテ人を打って帰って来たとき、みなに戻ったが、女たちはイスラエルのすべての町々から出て来て、タンバリン、喜びの歌、三弦の琴をもって、歌い、喜び踊りながら、サウル王を迎えた。  
 7 女たちは、笑いながら、くり返してこう歌った。「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った。」  
 8 サウルは、このことばを聞いて、非常に怒り、不満に思って言った。「ダビデには万を当て、私には千を当てた。彼にないのは王位だけだ。」

#### 要約

△Remnant は、これからたくさん生きていかなければならないので、重要な覚悟が必要だ。この部分をのがせば、むだな苦勞することになる。福音を知って、少しだけ祈りを味わえば良い。祈って答えや体験のようなものがなくても大丈夫だ。答えと関係なく祈ることが祈りだ。聖書を詳しく見るほど、神様が私とともにおられることが祈りで、他の条件があるのではない。ダビデはこの祈りをしたのだ。

#### □序論\_羊飼生活(詩 78:70-72)

- みことば黙想 - ダビデがみことば黙想をたくさんした証拠として詩篇を多く書いた
- 深い祈り - ダビデはすべての生活の中で神様に向かった深い祈りがあった。「主は私の羊飼い」と告白し、王になったときは「主が私の王である」と告白した
- 賛美 - ダビデは賛美の人だった。Remnant は福音といのちを持ったとすれば、みことばを詳しく聞いて、少しだけ祈って賛美しても勝利する
- 最高の羊飼い - ダビデは羊一匹なくさない最高の羊飼いだ。Remnant は社会に出て行って出しゃばることなく、一つだけ正しくしても答えを受ける
- 王 - このとき、すでに神様はダビデを王として用いると決意された。今、正しく礼拝しているが神様は私たちの未来を完べきに準備される。今、答えより後の日がさらに重要だ

#### □本論\_これだけしていたが、三つの時刻表が来る

- 事件 - ダビデが用いられるしかない時刻表が来た。事件が起こる。これが神様の方法。事件がある人にはわざわざいなくなって、ある人には祝福になる
  - ペリシテ - イスラエルを 14 代、困らせた。
  - ガド出身ゴリヤテ - イスラエルを攻撃して 40 日間威嚇をしている。このとき、ダビデにぴったり合う時刻表が来たのだ。みなさんに今から来る事件は時刻表だ。

3) 幼いダビデー想像もしなかった幼いダビデがゴリヤテを倒した。今、祈っていることに対する答えが、今ではなく、ある事件のときにぴったり来る

2. 問題ー本当に祈りを分らない人々が「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った」と言った

1) 祈りを分らない人々の話ー祈りを分かる人なら「主がゴリヤテを防いで私たちを救い出された」「神様が以前にサウル王の祝福で、こういう立派な人物を準備した」と話すだろう。

2) 祈りを分らない王ーサウル王は非常に怒り、不満に思った(8-9 節)。祈りを分らない人は他人に非難されれば、はなはだ非常に怒り、不満に思う。自尊心が傷つけられることが起これば崩れる。Remnant は問題が起こったとき、ことばと行動がそれからの答えを左右するという事を知らなければならない。

3) 悪霊ー結局、サウル王は悪霊がついてしまった。

3. 真の答え(未来) - RT の過去、今日は未来のためのものだ

1) 青少年のときに刻印されたことは抜け出ないーそれゆえ、今、礼拝をささげることが貴重に刻印されることだ。

2) 世の中に出て行ったとき、刻印されたことが根をおろすー悲しみが刻印されれば世の中に出て行って悲しみが根をおろして、傷が刻印されていれば世の中に出て行って傷が根をおろす。

3) 時間が経ってしまえば元に戻すことはできない実が作られる体質になる。

△ダビデは羊飼いだったときに刻印され、サムエルに会って完全に刻印された。その後起きたことは、関係がなかった。RT の目には問題を問題として見えない。どんな問題であっても大丈夫だ。問題がくればより良い。それを見る目があるべき。神様が私に与えられたことを見つければよい。

□結論\_みなさんの未来は、この契約を握って通過するが、どんな答えなのか

1. 問題が来たときー100 年の答えを受ける

2. 事件が来たときー1000 年の答えを受ける

3. 福音を持つ RT の答えはー神様が永遠に残るものを与えてくださる。

△ダビデとともにおられた神様は、今、私たちとともにおられる。RT は契約の中でどんなこともあきらめてはならない。人のせいで失敗してはならない。いくらおかしな人にも会っても対等の位置に立つことが失敗だ。幼いダビデはサウル王を越えた。

△RT はいつでも神の子どもと Remnant のアイデンティティを守りなさい。このアイデンティティだけ握れば良くて、そのとき霊的変化が起きる。みなさんが祈りの答えを受けるのに、答えから先に受けるのではなく、目に見えないが、霊的状态が先に作られなければならない。Remnant は絶対にのがしてはいけない。そして、Remnant 集会礼拝の時に出了たメッセージを単語を整理しなさい。重要な答えがくるだろう。

## 全文打ち出し翻訳

Remnant 礼拝時間に参加したみなさんに、新しい恵みあるように願います。今日の礼拝は、Remnant の覚悟です。Remnant は、これからたくさん生きていかなければならないために、重要な覚悟が必要です。この部分をのがせば、むだな苦勞を多くするようになります。

誰もがそうでしょうが、私は幼いとき、とても背景がなくて環境がそうでした。私たちの時期には、誰でもそうだったのですが、特にそのような困難があったのです。ところが、本当に幸いなことが、私たちの村に教会ができました。オーストラリア宣教師が建てたのですが、私たちが行くところが事実ないから、村の人々がそこにたくさん行きました。唯一、信仰生活を正しくした家が我が家でした。他の人々は、そのまま教会ちょっと行って止めて、行って止めて、このような状況でした。ある日、私がこの福音を知るようになったのです。教会に通う人ほとんどが、よく福音を分かりません。ところが、福音を知るようになったのです。どのようにしなければならないかも分からないのに、祈りを始めたのです。そのときは、祈りをどのようにしなければならないのか、まったく知らなかった状況でした。少し祈ったのですが、私たちの村では我が家が未信者が認めるほど答えを受けました。未信者がみな分かります。少し祈ったのですが、ある日、答えが来ないように感じていたのですが、ある日、神様が伝道運動をするように私を変えられました。祈るときにこのような答えが来た、何か体験をした、そうしたことはありませんでした。私が体質的にそういうのを嫌いなだけでなく、聖書を詳しく見れば、それが重要なのではないということを感じたためです。聖書を読めば読むほど、答えと関係なく祈ることが祈りです。聖書を見れば見るほど、神様が私とともにおられるのが祈りであって、他の条件あるのではないということを知りました。ダビデがこの祈りをするのです。

□序論\_羊飼生活(詩 78:70-72)

そこで、今、Remnant のような幼い時期に、今、羊飼生活をする事になったのです。

## 1. みことば黙想

ここで他の人はよくしないのに、みことば黙想をしたのです。その証拠として、ダビデは詩篇を多く書きました。その詩篇の中に、神様のみことばが多く入っています。

## 2. 深い祈り

そしてダビデは、みことばだけ黙想したのではなく、神様に向かった深い祈りがありました。どの程度、深かったかという「主は私の羊飼い」そのように言いました。後ほど王になったときは「主は私の王である」と言いました。そして、すべての生活の中で深い祈りをささげたのです。

## 3. 賛美

その程度ではありませんでした。この二つのことが成り立つから、ダビデはとても賛美の人でした。事実、Remnant はみことばをよく聞いて、少しだけ祈って賛美だけ正しくしても、みなさんは勝利します。ただ、条件が、福音を持ったか、持たなかったかということです。いのちを持ったのか、持たなかったのかという問題であって、少しだけしてもかまいません。

## 4. 最高の羊飼い

それとともに、このダビデは、羊一匹なくさない最高の羊飼いになったのです。Remnant のみなさんは、何をしても、その一つを正しくすれば良いです。出しゃばるのではなく、正しくするのです。

普通、失敗する人々を見ると、私がこのように説明を聞いたり、報告を聞く時に見れば、すごくオーバー(Over)に話します。その人々が最後まで行った場合はありません。時々、私たちの家族や友人がきて私にお願いするとき、聞いてみるととてもオーバー(Over)に、熱心に話します。それは、みな失敗です。ダビデは、そのようにしませんでした。本当に最高の祝福を味わう羊飼い生活をしたのです。Remnant のみなさんが社会に出て行って、どこでも一つを正しくすれば、その後には答えはついてきます。これが詩篇 78 篇でしょう。

## 5. 王

ところで、この記録と見れば、このとき、すでに神様がダビデを王として選んでおられます。これが重要です。ダビデが「私が王になる」ではありません。神様が「あなたを王として用いる」韓国を見てください。「私が大統領になる」こういう人が多いでしょう。神様がさせなければならぬことで、自分がしたくてなるものではありません。すでに Remnant は記憶しなければならないことが、みなさんが、正しく礼拝しているのですが、神様はみなさんの未来を完ぺきに準備しておられます。それで今、答えも重要ですが、後の日のことがさらに重要です。今、受けている苦難が苦しいこともありますが、後のことがさらに重要なのです。

## □本論\_時刻表

これだけしていたのですが、必ず三つの時刻表がきます。

### 1. 事件

最初です。どんな時刻表が来るかという、ダビデが用いられるしかない時刻表がぴったり来ました。事件が起こったのです。みなさんは事件を恐れてはなりません。それが神様の方法です。ある人にはわざわざいになって、ある人には祝福になります。

どんな事件が起こったのでしょうか。ゴリヤテが攻め込んだのです。このペリシテの軍人と、ペリシテは普通の国ではありません。大きい五つの町があって、強大な海洋民族でした。そして、鉄器文化を持つ国です。攻め込んだのです。ですから、ゴリヤテが戦争をしようというのではなく、戦争する前に一対一で戦おうと言ったのです。

#### 1) ペリシテ

このペリシテは、イスラエルを 14 代、困らせていたのです。

#### 2) ガドーゴリヤテ

そのような中で、今まではそんなことがなかったのですが、ガド出身であるこのゴリヤテがイスラエルを攻撃してきました。40 日間、威嚇したということです。さあ、いよいよもう時刻表が来たのです。

みなさんにこれから起こる事件は、時刻表です。簡単に話せば、ダビデにぴったり合う時刻表が来たのです。みなさんがご存じのように、ダビデは技術がなんでしょう。羊一匹もなくしたことがありません。ダビデは他のことは分かりませんが、この石を投げること一つは、最高の実力者だということです。これがぴったり用いられるようになるのです。

#### 3) 幼いダビデ

それも、想像もできない幼いダビデに、こうしたことが起こるのです。みなさんが、今祈った、これがいつ答えが来る

かという、今、来ることより、さらに重要なのが、ある事件のときにぴったり来るということです。これがどれくらい重要でしょうか。これでゴリヤテを倒したから、大騒ぎが起きました。

## 2. 問題

必ず起きうる問題です。問題が起きたのです。本当に祈りを知らない人々です。「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った」このように出てきたのです。

### 1) 祈りを分らない人々

これは今、祈りを分らない人々の声です。私たちがこのように信仰生活する場合があります。誰かはどうか、誰かは最高で、誰かはこうだ。祈りをする人なら、そのように話をしないでしょ。

これは「主がゴリヤテを防いで、私たちを保護された」と言うべきです。そうでしょう。「サウルは千しか知らないが、ダビデは万だ」このように言えば、これはどうなるでしょうか。本当にまた、祈りの人のならば「ああ!神様が以前、サウル王の祝福でこういう立派な人物を準備された」このように話さなければならぬのに、完全に、これがですね、とんでもないことを「サウルは千しか知らないけれどダビデは万だ」と言ったのです。

### 2) 祈りを分らない王

祈りを分らない王です。8節、9節を見ると、「非常に怒り、不満に思って」そう書いてあります。そうです。祈りを分らない人は、他人の非難を受ければ、非常に怒り、不満に思います。そうでしょう。みなさん、祈りを分らない人は自尊心が傷つけられることが起こるでしょう。崩れます。祈りを分かる人は関係ありません。そうでしょう。道端のホームレスが財閥を見て「ホームレスのような奴」こう言っても財閥は何も関係ありません。ところが、何の力もない人が道を通り過ぎるのに本当にホームレスを見て「ホームレスのような奴」と言えば、そのホームレスは自尊心が崩れるのです。ホームレスです。この祈りを分らない王と民は、そのようになるしかありませんでした。私たちの Remnant は、外で信仰生活するとき、そのようにしてはいけません。みなさんはこの問題が起きたとき、ことばと行動が、それからの答えをまた、左右するという話です。

### 3) 悪霊

サウル王に悪霊につかれてしまいました。Remnant が行く世の中はこのようでしょう。それゆえ、覚悟するのです。覚悟しなさいということは、特別に備えるというよりは、分かれば良いのです。

## 3. まことの答え(未来)

それゆえ、みなさんご存じのように、このようなことが必ず来るのですが、さらに重要なことは、ダビデに、いままことの答えが準備されているということです。未来です。Remnant は、これを必ず記憶すべきです。みなさんの過去、今日は未来のためのものです。みなさんが全く苦しみにあった過去は、未来のためのものです。みなさんが福音を正しく知るならば、いのちがあるので、どんな問題があっても大丈夫です。それで、必ず記憶しなければなりません。ダビデが苦勞したように見えるのですが、後ほどダビデ王のような王は出て来ませんでした。

### 1) 青少年一刻印

その内容は分かるので、先に記憶しなければならないことはなんでしょう。青少年のときに刻印されたことは、抜け出しません。たくさん老いて刻印されたことは、少し抜け出ることがあります。年をとって習ったことは抜け出ることがあります。

今、みなさんに刻印されたことは出て行きません。どれくらい今、礼拝するというのが貴重なことなのかを知っていなければなりません。みなさんが礼拝を少しそのまま心を込めてささげただけですが、刻印されます。

### 2) 世の中一根本

これをもって世の中に出て行ったとき、こうしたことあつたことが見えるでしょう。重要なのが二つ目のことです。刻印されたことが根をおろすのです。みなさんに悲しみが刻印されていれば、世の中に出て行って悲しみが根をおろしてしまうのです。みなさんに傷が刻印されていれば、世の中に出て行って根をおろすのに、傷が根をおろすのです。とても重要です。

今、何か答えられる、答えられない、そのようなことを問い詰める、それは祈りを分らない人のことばです。みなさんのときに刻印された、これが根をおろさなければなりません。

### 3) 時間一特質

さらに重要なことは、時間が経ってしまえば、元に戻すことはできない実が作られる体質になるのです。元に戻すことはできない運命になってしまいます。体質がこれくらい重要です。それで今、ダビデが羊飼いであったときに刻印されたのです。

それから、ご存じのように、サムエルという大祭司に会って、話を聞きながら完全に刻印されてしまったのです。その後起きたことです。何の問題にもなりません。Remnant の目には、問題が問題として見えなければなりません。多くの人々が問題だと言うのですが、問題と見えません。必ず記憶しなければなりません。問題であってもかまいません。さらに正確に話せば、問題が来ればより良いです。その目がなければなりません。

ある Remnant の両親が離婚をしました。これが自分に傷になるということです。幸い、その話を私に言ったのです。それで「あなたの誤りは何もない」と話をしました。冷静に話して「行く人は行って、来る人は来る。重要なのではない」こう言いました。「あなたは神様があなたに与えたことを見つけなさい」必ず記憶すべきです。

## □結論

結論を結びます。みなさんの未来はこの契約を握ってこれを通過したのですが、どんな答えが来るのかということです。

### 1. 問題— 100 年

必ず問題が来たとき、100 年の答えが来るということです。必ずそうです。

### 2. 事件— 1000 年

そして、事件ということはたくさんありませんが、生涯に一度か二度あることです。千年の答えを残します。事実は大ダビデが受けた答えは千年を越えます。

### 3. RT—永遠

わかったところ、福音を持つ Remnant の答えは、神様が永遠に残ることを与えられます。それゆえ、大ダビデが受けた契約を今、私たちが握るのです。大ダビデを用いられた神様は、みなさんを用いられます。大ダビデとともにおられた主なる神様が、みなさんとともにおられます。まったく同じです。それゆえ、ある人がこういう冗談を言いました。「昔にダニエルを助けた御使いは今でも活動している。ダニエルのような人がいないだけだ」また、ある人は冗談で「この頃、御使いは退屈だ。助ける人がいない」みなさんその話は冗談ですが、重要な変わらないことを話しています。

Remnant はあきらめてはなりません。みなさんの人格であきらめてはならないのではありません。契約の中であきらめてはならないのです。Remnant は人のために失敗してはなりません。いくらおかしな人に対しても、そのために失敗してはなりません。失敗がなんでしょうか。その人と対等な位置でそれすれば、失敗するのです。幼い大ダビデはサウル王の失敗を、同じ失敗をしないで越えたのです。

いつでも神の子どもと Remnant のアイデンティティを守りなさい、それだけすれば良いのです。私は Remnant だ。そのアイデンティティだけ握れば良いです。それが何で重要なのかと言いたいでしょうが、そのとき、霊的変化が起こります。

精神が狂う人は、突然、狂ったものではありません。霊的な問題が先に来たのです。そうでしょう。わざわざが臨んだのですが、突然わざわざが臨むようですが、霊的問題が先にきたのです。みなさんが祈りの答えを受けるのに、答えから先に来るのではなく、目に見えないのですが、霊的状態が先に作られるのです。重要です。

Remnant は絶対にのがしてはいけません。それで Remnant 集会礼拝の時に出了たメッセージの単語を整理してください。重要な答えが来るでしょう。祈ります。

## 祈り

すべての問題解決者であるイエス・キリストの恵みと私たちの神様の大きな愛と聖霊の働きが、この場にいる Remnant 上に、全国世界にいる Remnant の上に、今から永遠までいつもともにおられますように。アーメン